

BELIEVE

3学年だよ

伊達中学校 第3学年通信
令和2年 1月31日(金)
【3学年重点目標】
①文部両道(希望進路の実現)
②克己心(自分に厳しく周りに優しく)
③伊達中愛(最上級生としての誇り)
第 38 号

第38週 2020年2月3日(月)～2月7日(金)

給食当番は3班②です。

住友賞受賞！！

第27回一筆啓上賞・日本一短い手紙「春夏秋冬」という大会に出品した1組の佐藤亜月さんの作品が、見事「住友賞」という賞を受賞することができました。

「スイカ」へ

愛おしく赤い君，夏。黒い種は邪魔かもね。
でもそれを態とるのがまた「夏」なのよ。

【手紙に込めた想い】

「愛おしく赤い」というのには、私がスイカを好きな気持ちが入った表現。黒い種は実から取り出すのが大変でめんどくさいけれど、その行為自体が夏を感じさせるのよ、という思いを込め、黒い種の存在が私にとってとても重要であることを示す。私のスイカへの愛があふれた手紙だ。

多忙な毎日。でも、追われてただけじゃ見えないもの。それが夏休みのとある日、私の前に突如現れたスイカの「黒い種」でした。毎年夏にスイカを食べますが、毎回黒い種は私の邪魔者でした。しかしこの夏、忙しい時間に入ったスイカの種取り。邪魔者だった種を愛おしく思ったのです。この時、この行為こそが私の夏の風物詩であったことを初めて知りました。今は受験期。未来勉強(受験勉強)に奮起しております。あと少し。ONE TEAM。頑張りましょう。頑張ろう。
(3-1 佐藤 亜月)

3学年教員へのインタビュー！

2人目 副担任 笹山直子

教員になってから出会った受験生の中で、すばらしいと思った取り組みを紹介します。

今から点数を上げるなんて無理じゃないの…？ と知っているあなたに！



ガキ大将的な存在で、いたずら大好き、まじめに勉強をしているところは見ることがありませんでした。定期テストの英語の点数は常に30点くらいで、11月の三者面談の頃も、様子はそんな感じのままでした。志望校は親に勧められた学校に決めた様子で、実力よりもかなり高めの学校でした。

ところがある日を境に、彼にどんなきっかけがあったのかはわかりませんが、絶対に志望校に入りたいという意志が回り、まるで人が変わったように本気で学習に取り組み始めました。それまではテストの問題の意味もわからず、何を聞かれているのか、ちんぷんかんぷんだと言っていた彼が、顔つきも変わってきたのです。テストの点数もじわじわと上がり、そして見事志望校合格を果たしました。彼の受験を通しての成長はすばらしいものでした。いたずら大好きは変わらず、でも大きな壁を乗り越え、大きく成長したその生徒は私にとっても誇らしい存在でした。

「自分には無理だ」とあきらめるのは簡単だし、自分の実力はここまでだと自分で決めてしまうのも残念です。

最大の敵は自分です。 楽しいことをやりたい、勉強はやりたくない、眠ってしまいたい自分に打ち克ち、懸命な努力をして目標を達成し、受験を通して人としても成長できたらすばらしいですね。

月日(曜)	朝	1	2	3	4	5	6
2/3(月)	整理と研究	月1	月2	月3	月4	総合	月6
		<input type="checkbox"/> 短縮授業 <input type="checkbox"/> 清掃なし <input type="checkbox"/> 昼に帰りの学活 <input type="checkbox"/> 職員会議					
2/4(火)	整理と研究	火1	火2	火3	火4	火5	火6
2/5(水)	整理と研究	水1	水2	水3	水4	水5	総合
		<input type="checkbox"/> 短縮授業 <input type="checkbox"/> 清掃なし <input type="checkbox"/> 昼に帰りの学活 <input type="checkbox"/> 職員会議					
2/6(木)	整理と研究	木1	木2	木3	木4	木5	木6
		<input type="checkbox"/> 県立高校前期選抜出願					
2/7(金)	整理と研究	金1	金2	金3	金4	金5	
		<input type="checkbox"/> 授業参観 <input type="checkbox"/> 学年・学級懇談会 <input type="checkbox"/> 清掃なし <input type="checkbox"/> 昼に帰りの学活					